

## 「読書のすすめ」

- 先月の土曜参観日には多数のご来校ありがとうございました。校長室では9時から「学校運営協議会(コミュニティースクール)」を開いて委員さんと今後の貴志南小学校について話し合いが持たれました。その中のひとつに子どもたちの読書がとりあげられました。
- 6年生対象の調査では、本校はスマホやゲームの時間がかかなり多い一方、読書時間が全体的に少ないうえ、読む子と読まない子の差が大きい傾向とでました。
- 本を読むと頭がよくなる…、よく言われることですが、それは単に知識が増えるからだけではありません。
- 脳科学者の茂木健一郎先生によると、ワクワク・ドキドキしたり、感動したりしたときに、脳にドーパミンが出て働きがよくなるそうです。また、文を読んで、「どんな様子かなあ…」「どんな世界かなあ…」と想像することが考える力につながるのだそうです。
- また、読書に集中している状態が、DLPFC という脳の前頭の場所が活動している状態だそうです。読書中にだれかが話しかけても集中しすぎて返事をしない子がいますが、逆に、そういう子はおおいに将来の伸びを期待できるのだそうです。
- 全国に朝の読書活動を広げた第一人者の大塚笑子さんの対談のコメントを以下に紹介します。

- 📖 どのような本を読めば？…おもしろそうと思うのが一番(カラフルな表紙・はやりの本)
- 📖 最後まで読まないが？…次々に本を変えて見ているうちにグッとくる1冊に出会えます。
- 📖 読ませる時間がないが？…10分早起きさせて、朝読書タイムがおすすめです。
- 📖 よく読む子の家庭の共通点は？…本についての親子の会話があったり、共に図書館や本屋さんによく出かけたりしているようです。
- 📖 本を身近にするには？…「本の表紙が見えるように本棚に置く」「ソファに2～3冊の本・図鑑を置いておく」「おもちゃやゲームと同じ棚に並べる」「家族共通の本棚を廊下に置く」などの工夫しているようです。
- 📖 一人で読まないのですが？…「文字が読める」と「文が読める」と「内容を理解する」はちがうので、小さい子なら、まずは読み聞かせて話の楽しさを味わわせてあげましょう。



★貴志南小学校では、ホームページを設けています。<http://www.wakayama-wky.ed.jp/kishiminami/>  
※写真等は児童個人を特定できないように配慮しています。